



下水道の事業計画と整備状況

1. 下水道事業計画の概要

町の下水道事業は、昭和50年度に下水道基本計画を策定し、翌年51年度事業着手以降鋭意事業を進めてまいりました。その間、宅地開発の進行、土地区画整理事業着手、公共水域の水質保全などの環境に対する意識の高揚などにより一層生活環境改善を望む声が高まるなど社会情勢が大きく変化してまいりました。

そのような状況のなか、平成5年度には公共下水道事業区域に隣接する上流区域の整備を図るため、特定環境保全公共下水道事業の業認可を受けるなど過去数回の認可変更により区域拡大を図りながら継続的に事業を実施してまいりました。

今後については、「全町下水道整備計画」の実現を目指して、農業集落排水事業、特定地域生活排水処理施設整備事業、個別排水処理施設整備事業との整合を図りながら事業を進めてまいります。

① 事業計画(認可)の概要

(平成25年3月31日現在)

予定処理区域(汚水)		
処理区域の面積	約497ヘクタール	処理区域の地名
処理区の名	面積(ヘクタール)	山形県 白鷹町 「区域は下水道計画一般図表 示のとおり」
摘 要		
白鷹処理区	・公共下水道事業(白鷹分)	367
	・特定環境保全公共下水道	130
	十王第3分区	20.8
	十王第4分区	3
	貝生分区	15.5
	深山分区	24.2
	蚕桑分区	42.8
	東根分区	23.7

処理施設(汚水)				
処理施設の名称	白鷹浄化管理センター			
施設位置	白鷹町大字荒砥甲1550			
敷地面積(ヘクタール)	2.32			
処理方法	オキシデーションディッチ法			
処理能力	晴天時最大	5,400m ³ /日		
	計画処理人口	8,670人		
摘要	計画下水量(日最大) 5,310m ³ /日			
	全体計画処理能力(日最大)5,400m ³ /日			
		BOD	SS	摘要
	流入水質	240	180	
	処理水質	15	30	

ポンプ施設(汚水)		
処理施設の名称	鮎貝汚水中継ポンプ場	
施設位置	白鷹町大字鮎貝5788-3	
敷地面積(ヘクタール)	0.11	
揚水量	(晴天時最大)	3.0m ³ /分
摘要	ポンプ場の主要な施設	
	沈砂溜	1池 鉄筋コンクリート造り 約
	ポンプ	2台 水中汚水ポンプ3.0m ³ /分

2. 整備状況及び水洗化の状況

町の下水道事業は、昭和51年に荒砥地区の事業に着手してから36年を経過しました。その間、昭和62年3月に白鷹浄化管理センターが完成し荒砥地区が供用開始され26年目を迎えております。さらにその後は鮎貝・十王地区等を事業区域に含めて整備を進め、平成3年度には鮎貝中継ポンプ場が完成し鮎貝地区の供用開始が図られました。また、平成5年度に特定環境保全公共下水道事業の認可を受け柏原地区から整備進め、その後も整備区域の拡大を図りながら、東根(畔藤・小山沢)、貝生、滝野、深山、東田尻、東高玉地区等の整備を継続的に実施してまいりました。

① 事業区域毎の整備状況(面積)

(平成25年3月31日現在)

処理区域名	認可面積(ha)	整備面積(ha)	供用開始面積(ha)	整備率(%) ^{*3}
白鷹(公共) ^{*1}	367	350	350	95.40%
白鷹(特環) ^{*2}	130	129	129	99.20%
合計	497	479	479	96.40%

*1: 公共下水道事業区域 *2: 特定環境保全公共下水道事業区域 *3: 認可面積に対する整備面積の割合

② 事業区域毎の整備状況(人口)

(平成25年3月31日現在)

処理区域名	整備済区域内人口(人)	供用開始済区域内人口(人)	普及率(%) ^{*1}
白鷹(公共)	6,256	6,256	
白鷹(特環)	2,868	2,868	
合計	9,124	9,124	59.6%

*1: 行政人口(平成25年3月31日現在住民基本台帳)15,307人に対する割合

③ 水洗化の状況(人口)

(平成25年3月31日現在)

処理区域名	整備済区域内人口(人)	供用開始済区域内人口(人)	普及率(%) ^{*1}
白鷹(公共)	6,256	5,682	90.8%
白鷹(特環)	2,868	2,167	75.6%
合計	9,124	7,849	86.0%

*1: 供用開始済区域内人口に対する水洗化人口の割合